

[ホーム](#) > [市民レポーター](#) > [まちづくりは畑作りから！！](#)



「地域の畑づくり」が始まりました！！

チビッコ22名、大人12名が夏野菜の種をまき、苗を植えました。7月ごろの収穫を楽しみに、子供たちと一緒に、土に馴染み、植物の成長を観察し、収穫時には旬の野菜の食感を味わってもらおう……

平成22年5月10日のことです。昨年の夏ごろからの準備がやっと叶えられた、待ちにまった「地域の畑づくり」が南沢の片隅で始まりました。



チビッコたちは、ひばり保育園の年長組に前田園長さんはじめ職員さん、経験豊かな地域のシニアのおじさん、おばさん、それを後押しする若人達、総勢34名が新緑のさわやかな五月晴れのもとに集まりました。

この「畑づくり」の仕掛け人は南部地域センタースタッフの高田、上田、井達さんです。日ごろから、センターに集まる地域の住民の皆さんとまちづくりのために努力されています。

近くには、ひばりが丘団地を控えて、高齢化率43%と市内で一番高い地域の人たちを対象に「老後いきいき安心！塾」を立ち上げ、高齢になっても安全に楽しく暮らしていくために、料理教室や「気軽におしゃべり会」などを開いておられます。今年4月で20回を超えたこの会の推進役の人たちが「畑づくり」の後押しをしました。



この事業は【まちづくり市民財団】の助成対象事業で

- ① 子供たちからシニアまで、野菜を作ることで世代を超えたつながりを作り、元気な世代がサポーターとして、子供やシニアをフォローして地域の助け合いの場とする。
- ② 野菜を全員で収穫し、調理し、会食する場を設け、子供たちに食に対する興味を持たせる。多世代が同席して会食しながら、子供たちの会話力を育てる。
- ③ 収穫直後の旬の味を感じさせることにより、地場野菜への理解と地産地消の意味を理解させる。



この高邁なコンセプトをどうやって実現するかで相当のご苦労があったようですが、偶然にもひばり保育園の職員さんがセンターの窓口にひょっこり来られて、それからが全とうまく回転し始めたようです。

園長さんをはじめ職員の皆さんは食育に特別な思いをお持ちの方々で、「やりましょう」と賛成していただき、職員さんの縁で畑を使わせてもらいましょうと……

前述のシニア応援団、保育士さんや元気世代の推進役の若人達が、力強い助っ人となって今日の開催にこぎつけたようです。



苗を見て野菜を当てるクイズでは、チビッコたちみんなが真剣です。正解はトウモロコシでしたが、苗をみて分かったのは2、3人。

収穫までに何回も観察に来て、実りの時までじっくり学習をするのでしょう。体験学習の良さです。



さて、この事業はこれからも継続できるのでしょうか？

子供たちに小さい時から野菜に馴染ませ食べさせる肥満対策、多世代がかかわる地域づくり、畑づくりで緑化保存・促進等等。次世代のためにも是非継続拡大させたいものです。

仕掛け人の高田さんにこれからの見通しを訊くと、最大の悩みは、資金の問題のようです。単年度の助成金ですからこの財団から継続しては受けられません。とすると、地元の有志からの協賛が得られるかどうかも課題の一つです。悩みの種です……と。この悩みの種が花になり大輪を咲かせられるか……

「継続は力なり」といわれています。チビッコ22人の「44の瞳」が毎年実りの秋にららんと輝き、収穫の喜びを多世代で分かち合うという素晴らしい「畑づくり！まちづくり！」にみんなでエールを送りましょう！

問合せ先 南部地域センター  
TEL 042-451-2021

※尚、掲載されたお子さんの顔写真は保護者の了解を得ております。  
市民記者 りきムーナ